

事務事業名	子ども第三の居場所事業	所属部	教育委員会	所属課	キャリア教育政策課
総合計画体系	政策名	〈IV〉ふるさとを学び育つまち〈教育・文化〉		所属G	キャリア教育政策G
	施策名	〈28〉青少年健全育成の推進		課長名	川西 泰恵
	目的	対象	意図	担当者名	星野 翔
	目的	対象	意図	電話番号	0854-40-1074 (内線) 2274
	基本事業	〈082〉基本的な生活習慣を身に付けるための家庭・地域の教育		予算科目	0:150:0:3 2:5:0:5:1:7
	目的	対象	意図	大事業名	社会教育推進事業
	目的	対象	意図	中事業名	子ども第三の居場所事業

1 現状把握【DO】

(1) 事務事業の概要

① 対象(誰、何を対象にしているのか)	② 意図(対象がどのような状態になるのか)
就学援助を受けている小学校1~3年生	居場所での体験活動等を通して、様々な力を身に付けるための土台をつくる。
③ 事業内容(期間限定複数年度事業は全体像を記述)	
事業期間 <input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 ( H30 年度 ~ ) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( 年度 ~ 年度 )	様々な理由により放課後児童クラブや学習塾、スポーツ少年団等の活動に参加できない小学校低学年を対象に、学習支援や体験活動等を提供することにより、将来の自立に必要な力の土台を育む。 H30年度:活動拠点整備や開設準備を実施。 R元年度以降:業務委託による拠点運営を実施。
④ 主な活動	⑤ これまでの改革・改善経緯
R4年度実績(R4年度に行った主な活動)	(この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?)
生活習慣の改善をはじめとする児童の自立に必要な土台づくりに取り組んだ。子どもたちにとって感動体験となるよう、様々な体験プログラムを実施した。	支援が必要な家庭との支援、繋ぎを市関係部局と学校と連携し、調整した。

(2) 事務事業の指標

成果指標	単位	R2年度(実績)	R3年度(実績)	R4年度(実績)	R5年度(計画)
ア 年度末登録者数	人	16	12	14	15
イ 保護者満足度(活動内容)	%	100.0	100.0	100.0	100.0
ウ 保護者満足度(スタッフ対応)	%	100.0	100.0	100.0	100.0
エ					

(3) 事務事業のコスト

① 事業費の内訳 (R4年度決算)		② コストの推移		単位	R2年度(決算)	R3年度(決算)	R4年度(決算)	R5年度(計画)
直営車両分 需用費 5千円 役務費 16千円	財源内訳	国庫支出金	千円					
		県支出金	千円			11,250	11,887	
委託分 委託料 16,000千円	財源内訳	地方債	千円					
		その他	千円	20,100	23,380	4,750	4,491	
		一般財源	千円		6	21		
		事業費計	千円	20,100	23,386	16,021	16,378	

2 事後評価【SEE】

① 事業実績における成果	子どもが孤立する事案、個々に抱える課題に対応する必要があり、きめ細やかな配慮が必要である。活動の中で児童の前向きな発言も生まれ、利用者アンケートでは100%の満足度を得ている。
② 事業実施するうえでの課題	困難を抱える子どもへの個別対応が必要である。事業継続に向け、安定的な財源確保が必要である。
③ 課題解決に向けた改革改善等	学校やスクールソーシャルワーカー等との情報共有や、保護者面談を通じ、子どもへの適切なアプローチをしている。 財源については、R4年度より国の制度を活用し、一定程度の確保ができた。 また、令和4年度は、B&G財団支援金(1,000千円)を活用し、より良い体験・交流活動へ繋げた。